



PAPER COMMUNICATION 2023

平和紙業株式会社
Heiwa Paper Co., Ltd.

〒104-0033
東京都中央区新川 1-22-11
Tel.03-3206-8501
<https://www.heiwapaper.co.jp/>

平和紙業株式会社
コーポレート・レポート



トップメッセージ

Top Message

環境意識の高まりを追い風に、
当社の得意領域を強化して
成長を図ります。

代表取締役社長
清家義雄



2023年3月期を振り返って

2023年3月期は前期に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、経済全体としては、感染症対策と社会経済活動の両立を図る動きから正常化が進み、経済活動や個人消費は緩やかに持ち直しました。その一方で、2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻を端緒として、原燃料価格の高騰や円安の長期化により、個人消費回復の鈍化や世界的な物価の上昇が見られました。

紙パルプ業界では、個人消費の回復に伴う包装パッケージ用紙や衛生用紙の需要は堅調に推移しましたが、印刷・情報用紙の構造的な需要減少や原燃料高騰に伴う製紙メーカーの価格改定を受けた需要の冷え込みも続いていることから、紙・板紙合計での国内出荷量は前年実績を下回りました。

このような中で、当社グループでは、経営方針に「より高い価値の付いた仕事をする」を掲げ、イベント事業や観光などの回復を見込み、主力商品である高付加価値特殊紙の販売強化と、需要伸長が見込める高級パッケージや特殊機能を付与した技術紙への注力を進めました。同時に、新規の顧客および需要の獲得を推進する施策を実施し、収益性の向上に努めました。原燃料高騰や円安による紙・板紙の価格改定においては、お客様への情報提供をはじめとする丁寧な対応を行い、販売数量への影響縮減を図りました。また、紙・板紙の需要減少局面での事業再構築に伴い、製紙メーカーの抄造設備の停機などが進行しており、それに起因する当社商品の改廃やリニューアルにおいては、これを好機として高付加価値商品への転換と安定供給の継続を図るとともに、社会ニーズの高い脱炭素やSDGsに対応した新商材の開発を進めました。

主力商品を中心とする販売活動の強化や商品リニューアルへの投資、SNSなどを活用した新たな顧客層への販売促進と情報収集への注力に加え、価格改定に伴う販売

社 是

平和を愛し、環境を重んじ、文字文化を通じ、
豊かな未来創りに役立つ企業を目指す。

目次	02	トップメッセージ
Index	04	財務ハイライト
	08	非財務ハイライト
	11	トピックス
	13	PAPER STORY
		特集：「特殊紙とデザイン」
	15	会社概要
	17	株式の状況
	18	事業所一覧

トップメッセージ

Top Message

単価の上昇もあり、当連結会計年度の業績は、売上高が160億68百万円（前期は156億19百万円）、営業利益は1億38百万円（前期は1億61百万円）、経常利益は1億92百万円（前期は1億33百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は8億74百万円（前期は87百万円）となりました。

なお、名古屋地区に保有している固定資産を同地で建築される建物の一部に買い換えることを条件に譲渡した結果、当期は11億33百万円の特別利益を計上しました。

主要KPIと今後の成長戦略

当社では主要KPI（重要業績評価指標）として、ROAとROEを重視した経営を行っています。2022年度は、ROAが前期比4.6ポイント増の5.2%、ROEが同8.8ポイント増の9.8%となりました。2022年度に譲渡した名古屋の固定資産にかかる含み益の計上により、今後数年間は、見かけ上での数値は影響を受けますが、引き続きROAとROEを重視していく方針に変更はありません。

デジタルシフトが進む中、情報伝達媒体としての紙需要の縮減傾向は加速していますが、脱炭素の流れに代表されるように、環境負荷低減を図るための素材としての紙への注目度は高まっています。特に、パッケージ用途を中心に紙が持つ役割は再認識されており、コロナ禍が収束に向かいインバウンド需要が回復していく中で、高級パッケージ用途やさまざまな機能を付与した技術紙は、今後需要の伸長が期待され、当社の強みを発揮できる領域です。従来の手法に加え、SNSなどの情報発信も活用しながら、より広範囲での販売促進活動を強化することで、売上の拡大を図ります。また、紙需要の規模が大きい関東地区の需要をより一層取り込むべく、東京を中心とした販売活動を重点的に強化していきます。そして、お客様や社会の課題解決につながるソリューションビジネスの提供を通して、当社ならではの付加価値を高め、さらなる収益性の向上へとつなげていきます。

当社の強み

紙流通業界における当社の強みは、高付加価値特殊紙を独自に企画し、自社で在庫管理して販売するオリジナル商品のラインナップにあります。商品構成においても、今後さらなる需要伸長が期待でき、商品が充実している高級パッケージ用紙や技術紙についても、特殊紙を共同開発できる製紙メーカーとの長年にわたる強固な信頼関係が資産となっています。流通面においては、紙卸商向けの販売比率が高く、全国8つの在庫拠点から個々のニーズに応じた数量での配送に対応し、販売エリアは日本全国に加えて東アジア地域も含めた広範囲をカバーしており、当社のオリジナル商品をご購入いただける体制が整っています。

サステナビリティ経営への注力

私たちが取り扱う「紙」は、バイオマスで生分解性があり再生可能という点で、他の素材に比べて地球環境への負荷低減の優位性が高い素材だと言えます。当社は、特殊紙が持つさまざまな付加価値、例えば送り手の気持ちや製品のイメージを訴求するなどの感性の豊かさを与える用紙提案や販売活動、商品企画を行っています。環境意識の高まりから、加速している脱プラスチックや脱炭素化に向けた動きにも対応し、「紙」素材の中でもより環境価値の高い商品へのシフトを進め、そうした商品の提案販売を通して、当社の環境活動としてはもちろん、お客様自身の「海の豊かさ」や「陸の豊かさ」を守るSDGsのゴール達成にも寄与しています。

また、紙を企画・販売する当社が、製紙メーカーで大量に生産された多種多様な紙の在庫機能を果たしながら、10枚や100枚といった小ロットでのお客様ニーズに対応することで、より多くのお客様に特殊紙活用の価値を創出するだけでなく、ロットの大小にかかわらず生産された紙を流通させることは、紙資源の有効活用にも寄与すると考

えています。販売だけでなく、こうした細やかな供給体制を通じて、仕入先様やお客様を含む紙流通業界全体における課題解決を図っています。

人的資本への取り組みについては、ジェンダー平等をはじめとするダイバーシティの拡充を推し進め、教育・研修などの人的資本への投資も積極的に進めています。営業などの各部門でのプロフェッショナル人材に加え、本支店などの各拠点をマネジメントできる人材を中核人材としてしっかりと育成していくことで、価値の源泉である人的資本の強化・拡充を図っていきます。

資本配分と株主還元

コロナ禍では企業運営において、手元資金の水準を常に把握し、安全な財務戦略を実施してきました。しかし今後は、株主還元とのバランスを取りながら、成長投資について

も経営状況を判断しながら、さまざまな施策の優先順位を検討していきます。名古屋の固定資産活用については、必要とされる追加投資は行うものの、リスクの高い投機的な投資は実施しません。また、当社の持続的成長につながるM&Aについては、卸売業や特殊紙の製造・加工など、当社に知見のある事業領域を中心に、引き続き検討していきます。

株主の皆様に向けた還元につきましては、安定的な配当を継続することを前提に、今後の市場動向やそれに伴う業績の見通し、配当性向も勘案しながら、還元を拡充していく所存です。事業を通じて顧客課題を解決して成長し、当社が創出する利益を、株主様をはじめ社員も含めたステークホルダーの皆様へと価値をお届けしていきます。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

財務ハイライト

Financial Highlights

事業概況 セグメント別の状況

■和洋紙卸売業／和洋紙卸売業は、情報伝達媒体のデジタルシフトによる印刷・情報用紙の需要縮小や、価格改定による販売量減少等の影響はあるものの、イベント事業や観光等の経済活動の回復や個人消費を中心とした国内需要の回復傾向が続いたことから、当社の主力商品である高付加価値特殊紙の販売が堅調に推移し、価格改定による販売単価の上昇もあり、売上高は166億82百万円（前期比2.8%増）となりました。営業利益は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて実施しておりました出勤日数の削減等による休業手当の営業外費用への計上額が減少したため、1億24百万円（前期比7.9%減）となりました。

■不動産賃貸業／不動産の売買、賃貸借、管理及び仲介で構成される不動産賃貸業は、2021年9月9日に「固定資産の譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、名古屋地区にて保有している固定資産を譲渡したことにより不動産賃貸収入が減少し、売上高は18百万円（前期比45.8%減）、営業利益は14百万円（前期比46.6%減）となりました。

セグメント別の売上高（セグメント間の取引消去前）

（単位：百万円）



■ 第89期／2022年3月期
■ 第90期／2023年3月期

財務ハイライト

Financial Highlights

事業概況 品目別の概況

■**ファンシーペーパー**／多様な色、表面性、風合いを持つ高付加価値特殊紙のファンシーペーパーは、需要におけるコロナ禍の影響が徐々に減少し、リモートやSNS、再開した展示会等での販売促進活動の効果も伴い、出版、商業印刷物用途が緩やかに回復し、売上高は35億25百万円、前期比4.9%の増加となりました。

■**高級印刷紙**／独自の風合いを持ち、通常の印刷用紙より高価格帯の高級印刷紙は、商業印刷物等の販売が緩やかに回復し、出版物や紙製品用途も増加したことで、売上高は34億62百万円、前期比8.1%の増加となりました。

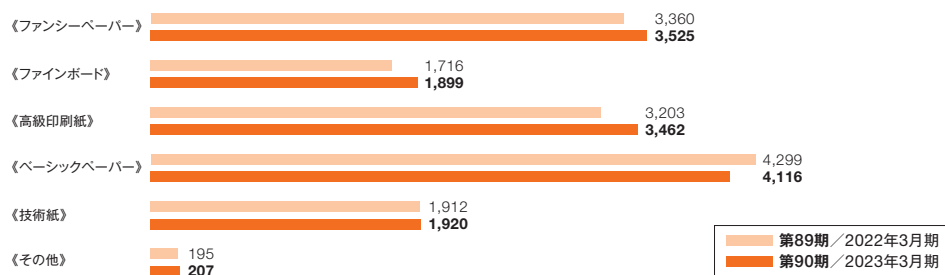
■**技術紙**／通常の紙にはない特殊機能が付与されている技術紙は、各種工業品製造用工程紙や耐水撥水性機能紙の販売が減少しましたが、偽造防止用途や合成紙の販売が堅調に推移し、売上高は19億20百万円、前期比0.4%の増加となりました。

■**ファインボード**／ファンシーペーパーの厚物(板紙)であるファインボードは、各種観光イベント需要の再開に伴い、化粧品・食品等の高級パッケージ向けの販売が緩やかに回復し、売上高は18億99百万円、前期比10.6%の増加となりました。

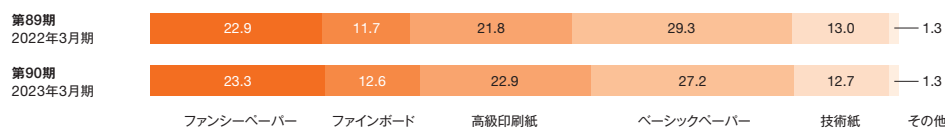
■**ベーシックペーパー**／上質紙、塗工紙、色上質紙等の印刷用紙、包装用紙、パッケージ向け板紙等で構成されるベーシックペーパーは、一般パッケージ用途や東アジア向けの輸出は堅調に推移しましたが、価格改定の影響が大きく、商業印刷物、出版、紙製品用途の販売が減少し、売上高は41億16百万円、前期比4.3%の減少となりました。

■**その他**／家庭紙、紙加工品、製紙関連資材等で構成される当区分では、製紙関連資材、紙加工品の販売は減少しましたが、観光需要の回復に伴い家庭紙の販売が伸長し、売上高は2億7百万円、前期比6.2%の増加となりました。

品目別の売上高 (単位:百万円)

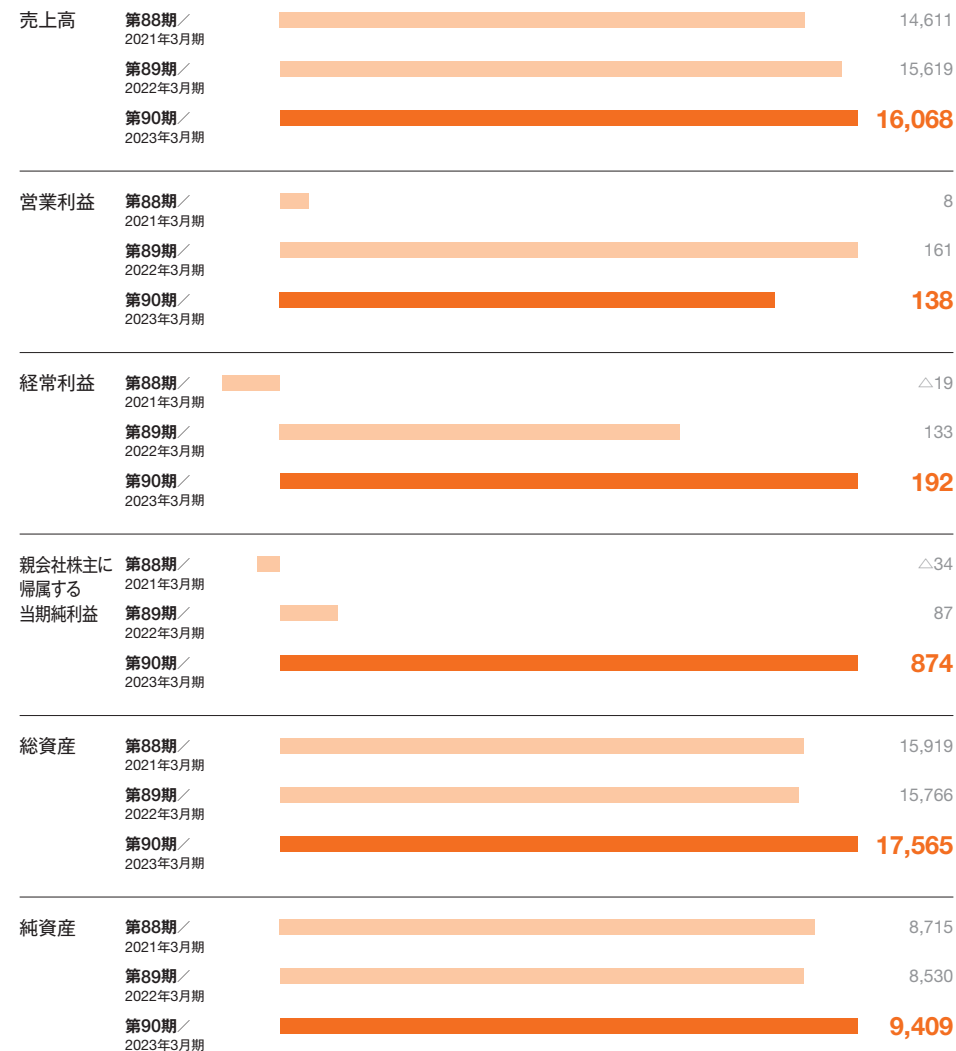


品目別の構成比率 (単位:%)



連結

(単位:百万円)



財務ハイライト

Financial Highlights

連結貸借対照表
(2023年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部	第89期/2022年3月期	第90期/2023年3月期
流動資産	12,216,780	12,477,775
固定資産	3,549,698	5,087,417
有形固定資産	809,560	1,953,389
無形固定資産	57,659	40,044
投資その他の資産	2,682,478	3,093,983
資産合計	15,766,479	17,565,193

負債の部	第89期/2022年3月期	第90期/2023年3月期
流動負債	6,823,747	7,542,594
固定負債	412,032	612,870
負債合計	7,235,780	8,155,465

純資産の部	第89期/2022年3月期	第90期/2023年3月期
株主資本	8,047,309	8,750,391
純資産	8,530,698	9,409,728
負債純資産合計	15,766,479	17,565,193

連結損益計算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：千円)

	第89期/2022年3月期	第90期/2023年3月期
売上高	15,619,399	16,068,886
売上総利益	2,922,827	3,234,135
営業利益	161,686	138,334
経常利益	133,624	192,110
親会社株主に帰属する当期純利益	87,256	874,804

個別貸借対照表
(2023年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部	第89期/2022年3月期	第90期/2023年3月期
流動資産	11,359,956	11,378,012
固定資産	3,719,357	5,295,411
有形固定資産	773,014	1,902,887
無形固定資産	55,675	38,072
投資その他の資産	2,890,667	3,354,451
資産合計	15,079,314	16,673,424

負債の部	第89期/2022年3月期	第90期/2023年3月期
流動負債	6,563,822	7,093,841
固定負債	366,929	553,814
負債合計	6,930,752	7,647,656

純資産の部	第89期/2022年3月期	第90期/2023年3月期
株主資本	7,723,950	8,470,155
純資産	8,148,562	9,025,768
負債純資産合計	15,079,314	16,673,424

個別損益計算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：千円)

	第89期/2022年3月期	第90期/2023年3月期
売上高	14,722,830	15,149,558
売上総利益	2,618,574	2,890,297
営業利益	182,418	179,640
経常利益	163,348	234,911
当期純利益	119,192	917,926

非財務ハイライト

Non-Financial Highlights

平和紙業のSDGsへの取り組みについて



平和紙業は、社業である紙の販売を通じて持続可能な社会の実現に貢献すべく、8つの目標を掲げてSDGsの目標に向けて取り組んでいます。

平和紙業が掲げる8つの目標

- 「紙」という持続可能な素材を社会に提供します。
- 脱プラスチックを視野に入れた機能素材を積極的に市場展開します。
- 事業運営に関わる、エネルギー使用の効率化をはかります。
- 環境に配慮した物品購入、公正な調達を行います。
- 誰もが働きやすい職場を作り、ワーク・ライフ・バランスの向上を目指します。
- 学びの機会を増やし、スキルアップを促します。
- 社会貢献を視野に入れたESG投資を行っていきます。
- 国内外で様々なパートナーシップの輪を広げていきます。

平和紙業のSDGsへの取り組み、目標の詳細については、当社ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.heiwapaper.co.jp/sdgs/sdgs.html>



8つの目標に対する取り組み (2022年4月1日~2023年3月31日)

■ 1 ■

- 下記の商品をFSC®森林認証紙へ順次移行しています。
「新・北斎」「ピオラ」「デュークブラウン」「新利休」 2022年11月生産分より



■ 1・2・3・8 ■

- 当社では、得意先様をはじめとした、さまざまなお取引先様とのパートナーシップを図りながら、アップサイクルされた紙の提案や開発に取り組んでいます。
アップサイクルとは、本来であれば捨てられるはずの廃棄物に、デザインやアイデアといった新たな付加価値を持たせることで、別の新しい製品にアップグレードして生まれ変わらせることを言います。



■ 4 ■

- 物品購入において社内目標を定めています。
* 詳しくは、10ページの[ISO14001環境管理活動について]をご覧ください。



■ 5 ■

- 2023年3月31日現在の管理職全体に占める女性の割合は、14.0%となりました。
* 詳しくは、9ページの[女性管理職比率について]をご覧ください。



■ 6・7・8 ■

- 社会と学校現場を近づけ、プロによる出前授業を届ける教育プログラム「TERAKOYA Program」に参加しました。
* 詳しくは、9ページの[Topics CSR]をご覧ください。



非財務ハイライト

Non-Financial Highlights

■女性管理職比率について

『「女性活躍推進法」に基づく一般事業主行動計画』を策定しており、2026年3月31日までに、部門長である管理職に占める女性の割合18%以上を目指した取り組みを行っています。2023年3月末現在の女性管理職は合計6名、管理職全体に占める女性の割合は14.0%です。

(前年:女性管理職5名、比率11.4%)

『「女性活躍推進法」に基づく一般事業主行動計画』の詳細については、当社ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.heiwapaper.co.jp/plan/>



■コーポレートガバナンスについて

コーポレートガバナンスを経営上の重要課題のひとつと捉え、経営の効率化・意思決定の迅速化を推進しています。また、コンプライアンスの実践を重要な経営事項と認識し、当社グループ全従業員に法令および社内規程の遵守を求め、コンプライアンス意識の強化に努めています。

コーポレートガバナンスの詳細については、当社ウェブサイトに掲載している「コーポレートガバナンス報告書」をご覧ください。

https://www.heiwapaper.co.jp/ir/governance_report.html



■SDGsへの取り組み事例

社会と学校現場を近づけ、プロによる出前授業を届ける教育プログラム「TERAKOYA Program」に参加。

「TERAKOYA Program」は、現代の教育現場が抱えるさまざまな課題に耳を傾け、企業や社会で活躍する学外のプロフェッショナルが協力して、地域社会全体で次世代を担う子供たちを育てていく、持続可能な教育プログラムを目指しています。

今回のプログラムでは、東京都中央区立阪本小学校の児童たちが、イラストレーターである絵子猫(えこねこ)様のコーチのもと、当社と同じ中央区にある、べんてる株式会社様の「ゆびえのぐ」と当社の「ファンシーペーパー」を使い、手や指で感じたままに描く自由なアート作品にチャレンジしました。当社は、画材としてさまざまな手触り感のあるファンシーペーパーを提供しました。授業後には「普段は用意されている画用紙に描くのが当たり前だと思っていたけど、自分で紙を選んだり触り比べたりする面白い体験ができた」など、明るい笑顔で話す児童たちが印象的でした。これからも「紙」を通して、SDGsに寄与できるような活動を継続していきます。

当日の様子は、
下記のウェブサイトにてご覧いただけます。

兜LIVE! <https://kabuto-live.com/report/WaThQL>



Topics CSR

■ISO14001環境管理活動について

■エコロジーペーパーについて

※新型コロナウイルス感染症による行動制限が徐々に緩和され、オンラインや感染防止対策を施した勉強会やイベントを開催した結果、すべての項目で目標を達成しました。

① 普及活動の推進

(全サイト合計)



② 販売シェアの把握

目標：エコロジーペーパー販売シェア基準値±3ポイント以内

	2022年度実績	2021年度実績
全サイト合計	基準値0.7ポイント	基準値0.8ポイント

※基準値とは、前年度の実績を参考に算定した販売シェアの予測値です。
(参考)コロナ禍前3年度(2017~2019年度)平均実績 基準値0.5ポイント

③ 在庫シェアの把握

目標：エコロジーペーパー在庫シェア基準値±5ポイント以内

	2022年度実績	2021年度実績
全サイト合計	基準値-2.0ポイント	基準値0.5ポイント

※基準値とは、前年度の実績を参考に算定した在庫シェアの予測値です。
※在庫の管理は全サイト一括管理となっています。
(参考)コロナ禍前3年度(2017~2019年度)平均実績 基準値-1.8ポイント

■エネルギー使用量について

① 電気 (単位：kwh)

	2022年度実績	使用前年度比
全サイト合計	336,400	-1.6%

(参考)コロナ禍前3年度(2017~2019年度)平均実績 450,002

② 営業車用ガソリン (単位：リットル)

	2022年度実績	使用前年度比
全サイト合計	27,102	+32.7%

※営業車の52%にハイブリッドカーを導入しています。
(参考)コロナ禍前3年度(2017~2019年度)平均実績 35,379

■OA用紙使用量について

① PPC用紙 (単位：千枚)

	2022年度実績	使用前年度比
全サイト合計	2,301	+1.5%

(参考)コロナ禍前3年度(2017~2019年度)平均実績 2,770

■グリーン購入シェアについて

目標：グリーン文具購入シェア80%以上

	2022年度実績	2021年度実績
全サイト合計	97.1%	96.7%

(参考)コロナ禍前3年度(2017~2019年度)平均実績 96.9%

平和紙業の環境問題に対する基本方針、基本理念、行動指針については、当社ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.heiwapaper.co.jp/environment/plan.html>



トピックス

Topics

和紙のような穏やかで白い砂のような肌合いと色合いの
ファンシーペーパーを発売

「真砂紙」

「新楮紙S」の後継商品として、和紙のような穏やかであたたかみのある紙肌と、軽い紙質を持ちながら、オフセット4色印刷の適性を兼ね備え、白い砂のような肌合いと色合いを持ったファンシーペーパー「真砂紙(まさごし)」を発売しました。

書籍の装丁や貼り箱、タグ、紙製品など、さまざまな用途でご利用いただけます。

FSC®森林認証紙で、環境面にも配慮しています。

《商品規格》

寸法：1,091×788mm Y目

連量：90kg(104.7g/m²)・120kg(139.6g/m²)
160kg(186.1g/m²)・200kg(232.6g/m²)

色：純白

FSC®森林認証紙(FSC®C005596)



オフセット印刷が可能な

コースター用紙を発売

「HSKクッションF」

オフセット印刷が可能で、活版印刷や箔押しなどの印刷加工によって独特な雰囲気を醸し出すコースター用紙「HSKクッションF」を発売しました。

使いやすさを考え、600×800mm、939×636mmの2寸法、0.6mm、0.8mm、1.0mmの3つの厚みを揃えています。独特の白さと厚み、肌合いを併せ持ち、コースター以外にもタグやカード、葉など、素材感のある商材にもご利用いただけます。

FSC®森林認証紙で、環境面にも配慮しています。

《商品規格》

寸法：600×800mm T目・939×636mm Y目

厚さ：0.6mm・0.8mm・1.0mm

FSC®森林認証紙(FSC®C005596)



ペーパーボイス大阪にて

「紙と取り組むSDGs展」を開催

2022年11月7日から18日にかけて、さまざまなジャンルの「環境に配慮した紙」を一堂に紹介する「紙と取り組むSDGs展」を開催しました。製紙メーカーをはじめとした9社に出展していただき、各社の展示ブースを設けて環境に配慮した商品のPRを行いました。また、SDGsの目標の中で紙の視点からアプローチできる目標を選び、製紙業界が「持続的な森林経営」の理念のもと、伐ったら植えて、適切に更新しながら面積を増やし「森林を育て環境を守る」ことに注力してきたこと、紙が自然の恵みを効率的に利用すると同時に「地球環境と寄り添いながら作られている」こと、製紙産業が資源を消費するだけでなく「限りある資源を有効に活用している産業である」ことを紹介し、紙は「環境に配慮したサステナブルな素材である」ことをPRしました。

さまざまな業種の多くの方が来場され、当社や製紙業界との情報交換の場になっただけでなく、各社の環境への取り

組みとサステナブルな素材である紙の可能性を再認識いただく展示会となりました。また、2023年2月21日から22日には、山陽製紙株式会社様にご協力をいただき、仙台支店でも巡回展を開催しました。これからも、紙の可能性や情報の交換、発信を行える展示会を開催していきます。

出展企業 王子エフテックス株式会社様/山陽製紙株式会社様/
東京製紙株式会社様/特種東海製紙株式会社様/
日本紙通商株式会社様/富士共和製紙株式会社様/
ユボ・コーポレーション株式会社様/リントック株式会社様
(五十音順)

ゲスト企業 村田金箔グループ様



Topics 1

Topics 2

Topics 3

PAPERSTORY

Story 07 | Specialty Paper and Design

特集：特殊紙とデザイン

皆さんは、「特殊紙」と聞いてどのような紙を思い浮かべますか？「特殊紙」とはその名のとおり、特殊な条件で抄紙や加工された紙のことで、コピー用紙のような紙と比べて、紙自体に独自の特徴を持つ紙のことを言います。「特徴」には、色、柄、手触り感や機能などさまざまありますが、今回は「特殊紙とデザイン」をテーマに、特殊紙の中でも「ファンシーペーパー」や「ファインボード」を中心に、デザインへの効果や今後も期待される価値についてご紹介します。

■「特殊紙」にはどのようなニーズがあるの？

ファンシーペーパーは、紙自体の色や柄、手触り感が他の紙にはない付加価値を持ち、それに厚みを加えたファインボードは、風合いと丈夫さを兼ね備えています。物語の世界観を伝える書籍の表紙や見返し、結婚式の招待状や料亭のお品書きなど、目にただで特別感が伝わる紙をご覧になったことはありませんか。お菓子と同じ色合いのパッケージや、ブランドカラーと同じ色をした紙袋やパッケージなど、紙の色や風合いが、中に入っている製品のイメージを想起させる経験をしたことはないでしょうか。

紙の色や手触り感によって人々に特別感を与え、喜びやワクワクする気持ちを喚起できるこうした特殊紙は、デザインとの相乗効果によって、イメージの訴求力をさらに高めることができます。そのため、イメージをデザインするデザイナーや表現を追求するクリエイターにとって、特殊紙を活用することは、イメージをカタチにする表現として有益な手段となります。

■「特殊紙」を活用するデザイナーの変化

従来、特殊紙をよく活用するのはブックデザイナーや

パッケージデザイナーなど、一部のプロのデザイナーが中心でした。本やパッケージのように「触れる」ことを前提とした製品において、色柄による見た目のインパクトやイメージ、手触り感といった特殊紙の特徴は、製品アピールに直結する重要な役割を担います。

しかし、デジタル化が進む中でデザインの制作方法も変化し、紙に描いて表現する手法から、パソコンで画像などを処理し、仕上がりの確認も含めてディスプレイ上で制作が完結する手法が定着しました。また、デジタル化により大量に印刷されていた紙媒体の発行が減り、大量生産に替わって小ロットで手軽に印刷ができるデジタル印刷が普及してきました。これは一見、紙の需要や紙の使い手が減少したようにも見えますが、今まで特殊紙を活用してきた一部のデザイナーだけでなく、デジタルクリエイターや建築家、ファッションデザイナー、さらにはデザインのプロではない個人の方でも、比較的簡単に紙を用いたモノづくりができるようになったという側面も生み出しました。デザインのプロに限らず、さまざまな方がモノづくりを通して特殊紙の存在に気づいたことで、小規模のイベント広報やグッズ制作など、従来とは異なる用途で特殊紙の新たなニーズが見い出されています。こうした背景により、特殊紙を使う方のすそ野が近年広がっていると実感しています。

■新しいデザイン表現への期待

モノづくりの「素材」となる紙にもとから色がついていたリ、テクスチャーや風合いがある紙は、インクの発色そのままに印刷できる白く平滑な紙に比べて扱いにくさや印刷加工の難しさもあるでしょう。しかし、単なる白い紙では決して表現できない特殊紙独特の風合いがデザインとフィットすることで、より豊かで深いインパクトを与える表現ツールとなります。

例えば、この冊子の表紙には、ホットスタンプ加工によっ

てより魅力を発揮する「OKフロート」というファンシーペーパーを使用しています。「ホットスタンプ」とは、金属の型や版にとったロゴや絵柄を高温の熱と圧力をかけて紙に押し当てることで、スタンプのように転写できる特殊な印刷加工です。「OKフロート」は、ホットスタンプを施した部分の紙色に変化する特徴を持っています。7色の色バリエーションの中で今回は「ホホワイト」を使用していますが、押し当てて凹んだ部分が少し透けて見えるような色に変化しているのがわかるでしょうか。こうした紙表面の凹凸や透過、手触り感や光沢といった独特の特徴が今、デジタル系のイラストレーターの間で着目され、SNSなどを通してファンシーペーパーの人気が高まっていて、作品をディスプレイの中だけで完結させず、あえて時間と費用をかけて紙に落とし込み、デジタルでは表現できない質感を追求する方が増えています。どれほど凝ったデザインを作り込んでも、ディスプレイ上ではどれも同じ質感で、手触り感の違いは生まれません。視覚だけでなく、触覚へのアプローチも魅力ある表現だと、今まで紙を使っていなかった方たちも気づき始めたのだと思います。特に、特殊紙を知らずに初めからデジタルで制作している世代にとって、表現ツールとしての特殊紙の魅力は、新たな発見として大きな刺激になっているようです。人々の情感に訴えかけ、感動につなげるというファンシーペーパーの魅力が、新しいニーズとともにあらためて着目されています。

■今後、特殊紙をどのように発展させていくの？

情報伝達媒体としてのデジタルシフトは今後も続いていきますが、手にした人の心が思わずときめく、遊び心がある素材としての特殊紙は、デジタルとは異なる嗜好性や趣向性が優位性となり、これからも発展を続けていきます。ダイレクトメールなどの紙媒体は、開封されたか読まれたかといったデータがとりづらく、マーケティングにおいて

はデジタル媒体と比べて効果検証がしにくい側面があります。その一方、届いた際の視覚的アプローチや手にした際に感じるイメージの訴求力は、紙媒体ならではの強みです。ダイレクトメールに限らず、カタログやパッケージなども、開封時のワクワク感や「残しておきたい」といった感情を伴う経験を届けられるのは、特殊紙ならではの価値でもあります。ファンシーペーパーなどの特殊紙を持つエモーショナルな魅力をデザインとともに届けることで、手にした人に感動を伝えられる一助となるよう、また、デザインを追求する人たちが、これからも特殊紙を使って新しい表現に挑戦したいと思っただけのよう、平和紙業はこれからも特殊紙の企画開発に力を入れていきます。そして、これまでの紙の概念を超える「素材」としての魅力にも注目していただけるよう、特殊紙の価値創造に取り組みます。

特殊紙の新たな用途や新しい市場が見えています。日本の伝統文化でもある和紙を取り入れたインテリアは、外国人観光客からも高い人気がありニーズが高まっていますが、脱プラスチックの取り組みに応じて、建築においても、従来から使用されている壁紙だけでなく、これまで樹脂系で作られてきた建材の一部を紙素材に置き換える動きが見られます。例えば、樹脂やアルミを使用していた高級ブランドの内装やシーズンディスプレイを紙で表現した事例があり、すべての建材を紙に換えることはできませんが、今後、特殊紙の新たな市場になり得ると考えられています。

多様な価値が生まれる中、使う方も、使い方も、従来とは異なる発想が求められています。樹脂素材などに比べて環境面でも優位性のある「紙」の魅力や「素材」としての相違点なども訴求しながら、デザインにおいて豊かなオリジナリティを発揮できるよう、新たなニーズを収集しながら、さまざまなご提案を続けていきます。

会社概要

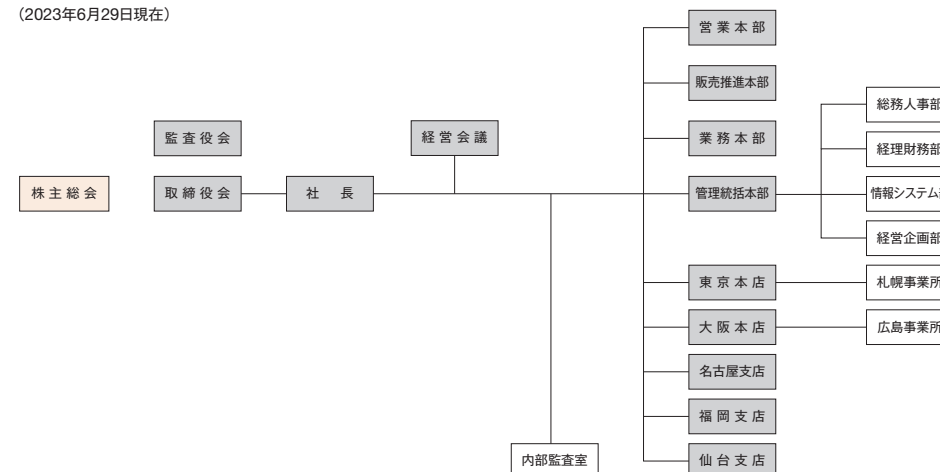
Company Overview

概要	創立	1946年3月
(2023年 4月1日現在)	資本金	21億784万3,845円
	上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
	従業員数	144名
	事業内容	1. 特殊紙、高級紙、技術紙をはじめ、各種紙素材の開発、販売、輸出入 2. 紙を素材とする新商品開発と商品化 3. 不動産の売買、賃貸借、管理および仲介 4. これらに付帯する一切の事業
	関係会社	平和興産株式会社 株式会社 辻和 平和紙業(香港)有限公司
	取引銀行	三井住友銀行 三菱UFJ銀行 みずほ銀行 三井住友信託銀行
	ウェブサイト	https://www.heiwapaper.co.jp/

役員紹介	代表取締役社長	清家 義雄	【管理統括本部長】
(2023年 6月29日現在)	取締役	坂野 一俊	【名古屋支店長】
	取締役	矢野 恵一	【大阪本店長】
	取締役	横山 秀雄	【営業本部長兼東京本店長】
	取締役	小宮 崇(新任)	【販売推進本部長兼業務本部長】
	取締役	小島 正之(新任)	【東京本店副本店長】
	社外取締役	柴田 貢	
	常勤監査役	土井 重和	
	社外監査役	松岡 幸秀	
	社外監査役	原 浩之(新任)	
	執行役員	和田 学(新任)	【管理統括本部副本部長】
	執行役員	森 保文(新任)	【管理統括本部副本部長兼総務人事部長】
	執行役員	北山 猛(新任)	【福岡支店長】
	執行役員	伊藤 敏(新任)	【仙台支店長兼営業部長】

会社組織図

(2023年6月29日現在)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	<input type="checkbox"/> 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
定時株主総会	毎年6月	<input type="checkbox"/> 特別口座から一般口座への振替申請手続きについて	特別口座に記録されている株式の振替手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
基準日	定時株主総会の議決権 期末配当金 中間配当金	毎年3月31日 毎年3月31日 毎年9月30日	<input type="checkbox"/> 未払配当金の支払について
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
郵便物送先・電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部		
公告方法	電子公告といたします。 (https://www.heiwapaper.co.jp/ir/ir/brief.html) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。		
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場		

株式の状況 (2023年3月31日現在)

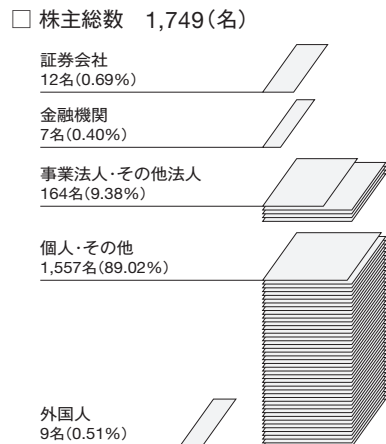
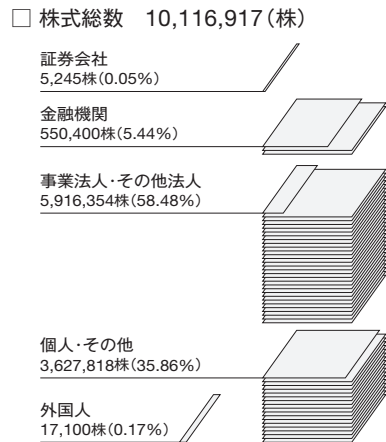
- ①発行可能株式総数 19,908,000(株)
- ②発行済株式の総数 10,116,917(株)
- ③株主数 1,749(名)
- ④大株主の状況(上位10名)

当社への出資状況

株主名	持株数 (単位:株)	持株比率 (単位:%)
特種東海製紙株式会社	814,100	8.61
王子エフテックス株式会社	745,000	7.88
平和紙業取引先持株会	532,600	5.63
日本製紙株式会社	313,500	3.31
北越コーポレーション株式会社	306,000	3.23
富士共和製紙株式会社	282,900	2.99
小島勝正	269,943	2.85
東京製紙株式会社	253,350	2.68
清家豊雄	221,872	2.35
春日製紙工業株式会社	202,750	2.14

(注)当社は自己株式を657,395株保有しておりますが、上記大株主から除外しております。持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況・重要な子会社の状況



会社名	資本金 (単位:百万円)	当社の議決権比率 (単位:%)	主要な事業内容
平和興産株式会社	60	100	物流・保管・紙加工業
株式会社社和	10	100	和洋紙卸売業
平和紙業(香港)有限公司	10百万HK\$	100	和洋紙卸売業

平和紙業株式会社 Heiwa Paper Co., Ltd.

事業所一覧

□ 本社・本支店

- 本社 〒104-0033 東京都中央区新川1丁目22番11号 Tel: 03-3206-8501
- 東京本店 〒104-0033 東京都中央区新川1丁目22番11号 Tel: 03-3206-8511
- 大阪本店 〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目3番23号 Tel: 06-6262-1212
- 名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目3番7号 Tel: 052-223-2310
- 福岡支店 〒812-0007 福岡市博多区東比恵3丁目23番34号 Tel: 092-474-1812
- 仙台支店 〒984-0015 仙台市若林区卸町3丁目1番7号 Tel: 022-235-0811
- 札幌事業所 〒060-0013 札幌市中央区北13条西17丁目1番41号 Tel: 011-717-3221
- 広島事業所 〒733-0833 広島市西区商工センター6丁目5番9号 Tel: 082-277-6336
- 富士デポ 〒416-0946 富士市五貫島字地神1088 Tel: 0545-63-1175
- 若洲デポ 〒136-0083 東京都江東区若洲2丁目4番18号 Tel: 03-3522-8280
- ペーパーロード大阪 〒577-0005 東大阪市七軒家19番15号 Tel: 06-6744-5572
- 名古屋デポ 〒485-0056 小牧市小木南1丁目1番1号 Tel: 0568-77-5335

□ ペーパーショップ・ギャラリー

- Paper Voice Tokyo 〒104-0033 東京都中央区新川1丁目22番11号 Tel: 03-3206-8541
- Paper Voice Osaka 〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目3番23号 Tel: 06-6262-0902
- Paper Voice Veillum 〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目3番7号 Tel: 052-223-2314



表紙: OKフロード ホワイト 四六判 Y目 170kg
 *ホットスタンプ(加熱型押し)で紙色に変化する特徴を持っています。
 本文: ソルジェンテ 四六判 Y目 100kg (FSC®森林認証紙)
 *画材紙の風合いにオフセット印刷が再現でき、上品で落ち着いた「艶」を演出します。
 印刷: 植物油インキを使用しています。